

ウマとのふれあいを体験しました

2年生『生物活用』の学習内容に「動物介在療法（動物セラピー）」があります。そこで、江津市後地町にある馬牧場『Lerai（レイ）』でウマとのふれあいを体験しました。レイのオーナー石原さんは令和4年からウマを飼育して『ホースセラピー』を実践しておられます。またその活動を江津市ビジネスプランコンテストで発表され、今年度の大賞を受賞されました。

まず、石原さんから『ホースセラピー』を実施されるきっかけを聞いた後、二班に分かれポニーのミラミスとのふれあいとレラのエサやり&乗馬体験を行いました。

生徒たちはウマの温かさに触れ、心温まる体験をしました。

